

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
素描演習 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	伊藤 泰雅			実務経験	有	職種	画家				
担当教員紹介											
画家。 絵画教室での講師をする傍ら、油彩で絵画を制作。 個展、グループ展で作品を発表し、精力的に活動。											
授業概要											
素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。											
到達目標											
描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。											
授業方法											
人物・静物・風景のモチーフを中心に初歩的でシンプルな課題から制作し、徐々にモチーフの難易度を上げて行く。 1回(3時間)で終わるモチーフも有れば2回続けて(6時間)制作するモチーフも有る。 導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。 作品ごとに最後は講評会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。											
成績評価方法											
課題	80%	課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価									
授業態度	20%	作品制作への積極性を評価									
履修上の注意											
苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要に応じて授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	様々な濃さの鉛筆を使いグラデーションを制作する事が出来る										
第2回	立方体の形態、陰影を的確に描けるようになる										
第3回	ブロックの形態、陰影、質感を的確に描けるようになる										
第4回	球体の形態、陰影、リングの形態、陰影、固有色、質感を描けるようになる										
第5回	円柱の形態、陰影を描けるようになる										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
素描演習 1	
第6回	空き缶の形態、陰影、固有色、質感、レタリングを描けるようになる
第7回	ティッシュ箱の形態、陰影、固有色、質感、レタリングを描けるようになる
第8回	カボチャの形態、陰影、固有色、質感、レタリングを描けるようになる①
第9回	カボチャの形態、陰影、固有色、質感、レタリングを描けるようになる②
第10回	ワイングラスの形態、質感、を描けるようになる
第11回	手の骨格、筋肉を理解し描けるようになる
第12回	目鼻口を拡大描写し描けるようになる
第13回	クラスメイトの顔を的確に描けるようになる
第14回	自画像を的確に描けるようになる
第15回	その他、補強すべき描写力を養う課題を描く